

平成24年度自動車利用適正化対策の実施結果の報告について

(1) 実施内容

知床国立公園カムイワッカ地区自動車利用適正化対策（以下「本対策」という）については、道道知床公園線の「知床五湖～カムイワッカの滝」間の約11kmを対象に実施した。

平成17年より実施された道道の災害防除工事が終了し、平成23年より本協議会で定めた新たな規制期間を設定し、マイカー規制期間と自由利用期間（中・大型車両は規制）に分け、下表のと通りの運用を実施した。なお、規制根拠は道路交通法第4条による公安委員会の交通規制による。

期間区分 / 車種区分	道道開通日 ～ 7/31	8/1 ～ 8/25	8/26 ～ 9/14	9/15 ～ 9/24	9/25～11/2
	自由利用 期 間	マイカー 規制期間	自由利用 期 間	マイカー 規制期間	自由利用 期 間
シャトルバス ※1	× 【運行せず】	○	× 【運行せず】	○	× 【運行せず】
中・大型自動車 ※2	×	×	×	×	×
普通自動車 ※3 自動二輪車(バイク)	○	×	○	×	○
自 転 車 徒 歩	○	○	○	○	○

※1 運賃が改定され自然センターカムイワッカ往復大人1,300円・子供650円、ウトロカムイワッカ往復大人1,960円・子供980円

※2 定員11人以上。営業用大型車両（貸切バス、路線バス等）を含む。

※3 普通自動車には、営業用車両（タクシー、ハイヤー等）を含む。

(2) 実施結果の概要について

① シャトルバスの運行

- ・斜里バスにより運行され、11,066人（前年比4%増）が利用した。
- ・自然センター内にバスチケット販売所を設置した。

② ゲート及び車両誘導業務

- ・北海道警備株式会社へ車両誘導業務を委託し、知床自然センター駐車場、予備駐車場、知床五湖ゲート及び知床五湖駐車場から渋滞末間に車両誘導のための誘導員を配置した。

- ・自然センター駐車場への車両誘導については、大きな事故・混乱の発生はなかった。
 - ・カムイワッカ湯の滝周辺にヒグマが出没（マイカー規制期間中 11 日）
- ③ 現地管理連絡調整業務
- ・本対策を円滑かつ適正に実施するため、現地管理連絡調整業務（無線による定時連絡、渋滞情報等の情報収集業務等）を（公財）知床財団に委託して実施した。
- ④ 広報活動
- ・本対策の周知を図るため、交通情報センターへ放送の依頼を行った。
 - ・チラシ 60,000 枚を作成し、道内の道の駅、キャンプ場、レンタカー事業者、道内外のカーフェリー事業者等に配布した。
 - ・国道・道道沿いに道路管理者協力のもと、マイカー規制期間中等の告知看板の設置、及び電光掲示の運用等が行われた。
- ⑤ 調査活動
- ・北海道及び環境省により道道知床公園線の車両カウント、カムイワッカ・知床五湖での混雑状況の調査を実施した。
 - ・マイカーの自由利用期（120 日）において 17,500 台（前年比 23%増）の車両が道道知床公園線を利用した。管理車両・関係者車両を除くと 16,600 台ほどのマイカーの利用があったと思われる。
 - ・カムイワッカの滝入口周辺での車両渋滞は 7 月 14 日（土）、15 日（日）、8 月 26 日（日）、10 月 7 日（日）の 4 日間で見られ、特に 7 月 15 日は渋滞時間が延べ 6 時間とほぼ終日混雑した。利用台数が 557 台/日、84 台/時とシーズン最多を記録すると共に、登山利用者による駐車が 11 台と多く駐車スペースが限られたことから終日の混雑となった。
- ⑥ 仮設トイレ等の設置
- シーズン中、斜里町により仮設トイレ、更衣室が設置された。

参考資料 1：カムイワッカ・知床五湖自動車動態データ